

変性エポキシ樹脂系さび止め塗料

適用規格 FKD, HBS, HDK, NEXCO, SPS, NES, SDK, 鋼道路橋便覧
JIS K 5551:2018, 構造物用さび止めペイントC種1号, 2号, JASS 18 M-109

系 統

ケチミン硬化変性エポキシ樹脂系さび止め塗料
(ノンブリード形エポキシ樹脂塗料)

4) エアレス塗装条件

2次圧 10MPa(100kg/cm²)以上、
チップNo.163T-517~621

特 長

- 1) 素地(さび層)への浸透が良く、すぐれた防食性をもち、旧塗膜との付着性にもすぐれています。
- 2) ハケ塗り作業性が良く、厚塗りができます。
- 3) 低温乾燥性が良い。
- 4) タールのブリードがないので耐候性のすぐれた上塗塗料で仕上げることができます。

塗付量と膜厚

	平均膜厚		標準塗付量 ^{注)} g/m ² /回
	Dry(μm)	Wet(μm)	
エアレススプレー	100	225	460
ハケ塗り	60	125	240

注) 標準塗付量は個々の条件によって異なります。

塗料性状

項 目	内 容
1 荷姿	18kgセット ベース: 16.2kg 硬化剤: 1.8kg
2 混合比	ベース/硬化剤=9/1
3 色	赤さび色、さび色、白、グレー
4 塗料密度	1.37(赤さび色)
5 溶剤密度	0.87
6 加熱残分	71%(赤さび色)
7 劇物表示 (品名・含有率)	—
8 労安法上の 表示有害物	ベース: キシレン : イソブチルアルコール : エチルベンゼン 硬化剤: キシレン : トルエン : メチルイソブチルケトン
9 使用有機溶剤種別	ベース: 第2種 硬化剤: 第2種
10 消防法による 危険物区分	ベース: 第2石油類 硬化剤: 第1石油類
11 硬化剤の成分 による区分	ケチミン

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

乾燥時間 塗装間隔 使用時限

項 目	温 度	5℃	20℃	30℃
		乾燥時間	指触 2時間	1時間
		半硬化 12時間	4時間	2時間
標準塗装間隔 ^{注)}	最短	16時間	8時間	6時間
	最長	1ヵ月	1ヵ月	1ヵ月
使用時限		12時間	7時間	5時間

注) 同じ塗料又は同系統の塗料を塗り重ねる場合です。

適用素材

鉄、コンクリート

適用下塗塗料

S Dジンク

適用上塗塗料

エポマリン、レタン中塗E、
セラテクトU・F中塗

耐熱温度

短時間 200℃耐用、長時間 100℃耐用

塗装要領

1) 調合と熟成

ベースと硬化剤を規定どおりの割合でよく混合し、下記のシンナーを規定内で混入し、十分に攪拌したのち使用してください。

2) 使用シンナー名

テクトEPシンナー、テクトEP遅乾シンナー(気温20℃以上のスプレー時)

3) 希釈率(質量%)

エアレス 0~10%、ハケ塗り 0~10%

製品取扱上の注意事項(安全衛生他)

- 下記の注意事項を守ってください。
- 詳細な内容については安全データシート（SDS）をご参照ください。

- | | |
|---------------|--|
| 予 防 策 | <ul style="list-style-type: none"> ●取り扱い作業中・乾燥中とともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護めがね・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。 ●吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。 ●皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。 ●火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。 ●火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。 ●裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。 ●本来の目的以外に使用しないこと。 ●指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。 ●缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。 ●取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。 ●使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。 ●本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。 |
| 対 応 | <ul style="list-style-type: none"> ●目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。 ●皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。 ●吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。 ●飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。 ●漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。 ●火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。 |
| 保 管 | <ul style="list-style-type: none"> ●指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。 ●直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。 ●子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。 |
| 廃 棄 | <ul style="list-style-type: none"> ●本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壤等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。） |
| 施工後の安全 | <ul style="list-style-type: none"> ●本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。 |